

公開日：2025 年 4 月 7 日

情報公開文書

「摂食速度がヒトの消化吸収率に及ぼす影響」へご協力いただいた皆様へ

医薬基盤・健康・栄養研究所は、「摂食速度がヒトの消化吸収率に及ぼす影響」に関する研究を研究参加の同意を得て、実施しました。これから食事と生体試料の栄養成分について詳細に解析していくために、新たに企業（日清食品ホールディングス）と共同研究を行います。また、研究実施時から共同研究者の異動等もありましたので共同研究者の変更申請を行い、ID 化されたデータを共同研究者に提供します。今回のお知らせの後、令和 7 年 5 月 31 日までにデータの研究使用を許可しない旨のお申し出がない場合には、ご同意をいただいたものとして、データを提供させていただきます。今回の期限を過ぎた場合であっても、令和 10 年 3 月 31 日までに許可しない旨の申し出があった場合は、提供機関と協議の上、当該データの利用は中止することとします。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。データの使用を希望されない場合、また、本研究に関するご質問は問い合わせ先へメールまたは電話等にてご連絡ください。なお、データ提供を許可しないことにより不利益が生じることは一切ありません。

研究責任者

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター 吉村 英一

目的および利用方法

食事の消化・吸収率はエネルギー必要量を推定する上で主要な変動要因と考えられますが、個人差は考慮されていません。また、消化・吸収率は栄養素によって異なりますがほぼ吸収されると仮定されています。このような背景から消化・吸収率の個人差と変動要因を明らかにすることを目的に研究を実施し、これまでにエネルギーの消化・吸収率には個人差があること、食事量によって消化・吸収率が変動することを明らかにしてきました。一方、摂食速度が消化吸収率に及ぼす影響について検討した先行研究はかなり限られており、エネルギーに加え、他の栄養素の吸収率に関する研究はほとんど明らかにされていません。今回、新たに共同研究者として参画する日清食品ホールディングスは、食事と生体試料の栄養成分、特に生体試料（糞便と尿）に排出されるミネラル（ナトリウムとカリウム）に着目して解析していく予定です。本研究で取得した匿名化された下記に関するデータは、共同研究者へパスワードを付与したファイルを提供します。

提供される情報と個人情報の扱い

提供する測定項目に関するデータは、研究責任者がデータ処理をした後は、匿名化されたデータ（個人情報を削除して誰のものかわからないデータ）として扱います。また、氏名、住所、連絡先などの個人情報は提供しません。ご自身が提供された情報を外部機関に提供してほしくない場合は下記、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からのお申し出いただいた場合は情報の提供を停止します。

提供するデータは下記の通りです。

- ①対象者特性のデータ（ID、介入条件、年齢、性別、身長、体重）：6項目
- ②食事と生体試料（糞便と尿）のデータ（エネルギー、総湿重量、乾燥重量、水分量、水分率、ナトリウム、カリウム、尿中クレアチニン）：8項目

研究期間

承認日～令和10年3月31日まで

情報を利用する機関の範囲

医薬基盤・健康・栄養研究所、日清食品ホールディングス

情報の管理について責任を有する者の氏名

吉村英一（医薬基盤・健康・栄養研究所）

お問い合わせ先（研究責任者）

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター

吉村 英一

〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町3番17号

電話：06-6384-1120(内線2518)

メールアドレス：eyoshi@nibn.go.jp